

がんばる！地域！

vol.24 太原

コミュニティの希薄化が課題となっている現在、広川町では、地域のつながりをさらに深めるために「地域コミュニティ推進事業」を進めています。

各行政区は、区民が主役の特徴ある活動を行っています。このコーナーでは、各行政区の取り組みを紹介していきます。第24回は「太原区」です。

太原区は、水の恵みを受けた緑豊かな田園風景が広がる地域です。町中心部にも近いこともあり、住宅建築が進み、若い世代の世帯・人口が増加しています。

平成25年には「太原区地域づくり計画書」を定め、『区民がつどい ひとりひとりを紡ぐ区 太原』をスローガンに、公民館を拠点とした「区民のふれあい活動」に取り組んでいます。

笑顔とふれあいのある地域づくり

【秋祭り】

8月に秋祭りを実施。祭りの始めには、お神輿を担いだ子どもたちが太鼓を叩き、会場を盛り上げます。夕方からは各団体がさまざまな夜店を運営し、カラオケ大会や踊りの披露、お楽しみ抽選会などで大いに盛り上がります。

人が集まるときには救命救急訓練を行い、安心安全な地域づくりにも一役かっています。



【グランドゴルフ大会】



健康増進と世代間交流の場として、11月にグランドゴルフ大会を開催。子どもから高齢者まで約130人が参加し、高齢者が子どもたちにアドバイスする姿も見られます。成績発表後は、親睦会でさらに交流を深めています。

活発なボランティア活動

太原区は、グループや個人によるボランティア活動が活発に行われています。敬老会での余興披露、モニュメントの作成、サロン活動、ハウ酸団子づくりなど、さまざまな地域支援活動に取り組んでいます。



広川町に残る城と館跡

長延村山王山城と城ノ尾城

さんとうざんじょう じょうのおじょう

その2

長延村両城の規模や城主は

山王山城

城ノ尾城との位置関係から、「西城（『家勳記得集』）」とも呼ばれます。山王山城と呼ぶのは、山王社（現日吉神社）の背後の山上にあったためです。

規模については諸説あり、縦6間・横5間・南面也（『筑後特土軍談』・『筑後秘鑑』）とも、長6間・横7間・大手口南向（『筑後久留米領式拾万石郡中古城覚書』）ともいわれます。

しかしいずれの資料でも、「城主（つまびらか） ナラズ」とあります。長延村の両城に関して詳しく述べているのは、『家勳記得集』だけです。山王山城の城主については唯一、「大友一族城後家記」という資料に、

日向耳川の戦で惨敗した大友氏の、筑後での勢力は急激に衰えを見せま

すが、龍造寺氏の侵攻を防ぎ、失地回復を図るべく城後主殿頭親茂を軍監として派遣します。高良山と山下城（蒲池氏拠点）とを

結ぶ線を重視した親茂は、その中間に位置する要所の長延村に、一城を構えたのではないかとあります。

ちなみに城後親茂は甘木氏家臣の有積（ありつみ）の娘を娶り、一子は長延姓（ながのぶ）を名乗り、後に鶴ノ池（八女市）に移ります。現在も旧国鉄矢部線鶴ノ池駅の側に、親茂が豊後から携えて来た念持（ねんじふつ）仏という地藏菩薩が祀られています。

このことを踏まえると、稲員氏も豊後大友の一貫した旗下であり、城後氏との連携が考えられなくもありません。

城ノ尾城

規模は、縦7間半・横7間で大手門西向（『筑後特土軍談』）といわれ、山王山城より縄張り

が大きいことが分かります。『筑後秘鑑』には、「萩尾麟（はぎおりん）か（天正14年7月、岩屋城で戦死）の館跡で、萩尾城跡という」とあります。こちらも稲員氏によって堅固に構えられる前に、萩尾氏に関する前史があったであろうことが十分にうかがえます。

長延区内には塔ノ尾（とうのお）という小宇地名（こあざ）があり、萩尾右近（うこんのすけ）（父と兄が岩屋城へ出陣した際に、幼いことから残った）夫婦の墓と伝えられる石が立っています。萩尾氏の生まれもまた豊後で、やはり大友氏の命で当地へ派遣された武将といわれています。

〈補注〉

紙面の都合上、先月号で解説できませんでした。

堀切：尾根を掘り割った塹

壕状の防禦施設

振柵：敵が近づいたら切り

落す防禦施設

逆茂木：野イバラなど刺の

ある蔓や枝を、突き

立てたり巻き付け

たりした防禦施設

（広川町郷土史研究会）

あかがり地藏付近から望む昭和60年当時の山王山城跡（○印）「長延区」



広川町古墳資料館だより

今年度も「石人山古墳直弧文彫刻体験ワークショップ」が始まり、地域の埋蔵文化財活用事業（国補助）の2年目が幕を開けました。昨年に続き、講師は高木恭二（考古学）、西平孝史（彫刻家）両先生です。受講した小中学生7人は、石棺をつぶさに観察したり、直弧文のなりたちを学んだり、直弧文を板石に彫刻したりしました。

今年も古墳資料館では、前年の受講生と一緒に、実物と同じ阿蘇凝灰岩製の家形石棺の棺蓋・棺身に、直弧文や重圏文などを彫刻します。広川町でしか実現しない体験です。



SDGs (持続可能な開発目標)とは、国連で日本を含む全世界が同意した2030年までに達成すべき目標です。

ひろかわSDGsプロジェクト

エスディーズ

SDGs:目標13「気候変動に具体的な対策を」

達成のために広川で頑張っている人・団体 ➡ 「生ごみ処理をしている皆さん」

「生ごみをコンポスト化(ぼかし)して、たい肥にすることで焼却ゴミを削減している」と牟礼茶屋区まちづくり委員会の皆さんから聞きました。

広川町では、生ごみ処理容器の購入希望者に5,000円の補助金を交付しており、自己負担1,600円で本格的なコンポスト活動が始められます(補助金に関する詳細は環境衛生課へお問い合わせください)。

たい肥を利用するメリットは、焼却ゴミを減らしてCO₂削減に貢献するだけではありません。

通常農作物を栽培すると、土壌中の養分が失われると同時に、炭素が空气中に排出されます。しかし、たい肥には炭素が多く含まれているため、それを使って栽培することで、結果的にCO₂を土壌中に蓄積させることができるのです。

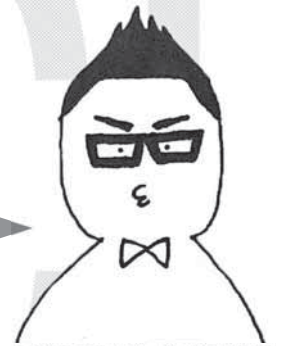
13 気候変動に具体的な対策を



福岡県で生まれた技術が、海を渡って世界の環境問題を解決しています。その一つが、福岡方式(福岡市)として海外で広く知られている微生物分解による廃棄物処理技術です。

高倉式コンポスト(北九州市)もインドネシアを中心に世界で普及しており、多くの生ごみをたい肥に変えることで、その国の環境改善に貢献するだけでなく、各家庭に収入をもたらしています。

一人ひとりのあたりまえの行動が、この世界をつくっています。身近なことから気候変動の対策をしてみましょう!



国際理解教育推進員
糀広大

より深く知るために、このようなキーワードで検索してみましょう。

福岡方式

検索

高倉式コンポスト

検索

広川文芸

広川短歌会



どうだこの根性見たかと石垣の割れ目に根を張る根深いつぼん	福地 洋子
ポケットからあふるるほどの花の種日ごと落としついでまた夢見る	姫野 洋子
母の日の祝ひに嫁が伴ひて杉乃井ホテルと高塚地蔵	原 千恵子
降る雨のつぎからつぎと窓ガラス滑りゆくさま競ふがごとし	野中ヨシ子
かたばみの繁殖力その強さか細い草野いずこに潜む	野中 勝美
丘陵の茶畑進む摘採機 古老は語るむかしといまを	蓮子 住雄
草原も山も緑の若くしてやさしき風に輝いている	高橋 和子
紫陽花の紅を引きつつ移ろひぬ二十日むかしは白よりしろく	青木佳代子
古文書を読み解きいけば行き来しの血脈の内流るるものあり	結束 節子
川原の黄色のアヤメに気づく朝 庭のバラよりうれしき目覚め	鹿田 恵
古稀祝ふ同窓会に招かれし都井の岬に春駒跳ぬる	美座 時朗
坂道を高校生のチャリ下る親を泣かすな空への滑空	古賀 音彦
久々に娘とともに出かけた土間のある家やさしき昼餉	中川原勝代
紫陽花の青さ日ごとに増しゆきて道行くひとの足を止めたり	山下 整子
次世代の稽古に励む声がする伸びやかな声がぎゅっと胸打つ	姫野 深幸